

第15回(2019年度)桜友会総会議事録

日 時: 2019年10月6日(日)午前11時00分から12時00分

場 所: 学園本部館3階大会議室

出席者: 桜友会会員58名(役員9名含む)

小藪江奏波(50回生)の司会で、桜友同窓会(総会)が開会した。

1. プログラム紹介の後、来賓(坂東真理子理事長、柴田芳明校長、小泉清裕前校長)とご出席恩師(有賀三奈子、宮川章義、黒田民子、村上淳子、萩原純子、大坪良穂、中島恵子)の先生方を紹介した。
 2. 田中律子先生の伴奏で校歌斉唱。
 3. 平原史樹桜友会会長の開会の挨拶:
「本日は足元の悪い中、ご出席いただきありがとうございます。皆さんと年1回の会を楽しみましょう。本日は、卒業50, 60周年のお祝いをいたします。また、来年は学園創立100周年を迎え桜友会としても、お祝いしたいと思っています。」
 4. 議長の選出:
司会者が議長の選出につき、柳栄治郎(2回生)を議長に推薦し、満場一致で承認された。
 5. 柳栄治郎議長による議事進行:
 - (1) 議事に入る前、桜友会規約第14条の出席者の過半数をもって成立することを説明し、「発言の際は挙手の上、卒業回生と名前を名乗るように」と注意が述べられた。
 - (2) 総会議案:
＜議案1. 2018年度活動報告と2019年度活動計画＞ 副会長 大石 恵津子
2018年度活動報告:
 - ① 2018年度は9回の役員会を行った。
 - ② 5月26日(土)昭和っ子の運動会に、副会長大石、大野が来賓として参加。
 - ③ 5月27日(日)学年幹事会を開催。
 - ④ 8月末には、会報第15号を発行、発送された。
 - ⑤ 9月16日(日)60回生のミニ同窓会に出席し、お祝いと記念品を贈呈し、桜友会の説明およびクラス会開催時の補助金についての説明をした。
 - ⑥ 10月14日(日)第14回桜友同窓会(総会)を開催。
 - ⑦ 11月10日(土)・11日(日)昭和祭でバザーを開催。
 - ⑧ 1月29日(土)役員会後、バザー慰労会を兼ねた新年会を開催。
 - ⑨ 2018年度クラス会補助金は、8/19=59回生(3クラス)、11/12=21回生、12/15=9回生、1/19 53回生に進呈された。
※活動報告について、拍手を持って承認された。
- 2019年度活動計画:
 - ① 初等部創立記念祝典(4月30日) 平原会長出席。
 - ② 学年幹事会開催(5月26日)
 - ③ 昭和っ子の運動会(5月25日)出席。
 - ④ 会報発行(8月26日発送)
 - ⑤ 桜友同窓会(総会)(10月6日)開催。

- ⑥ 昭和祭バザー開催(11月9日10日)
- ⑦ 年9回の役員会開催および、各イベント準備打ち合わせ
※活動計画について、拍手をもって承認された。

※※ 議題2の前に、坂東理事長の時間の関係で議事を一時中断し、学園の状況についてのお話をうかがった。

学園の状況について： 坂東 真理子 理事長

- ・来年昭和学園創立100周年を迎えるにあたり、色々と準備をしている。
- ・西門を出た(旧新体育館跡)所に10号館を建て、テンプル大学の校舎とした。
 - 学生・職員含め 1500 名。本土と同じカリキュラムで授業を行っている。
 - 歴史文化学科では、浮世絵・狂言・世界食堂など、女子大とテンプル大学生が一緒になって行く。また、科目とは違う分野で、学生達が活動を始めている。
 - 大学だけではなく、こども園から中高等部までが、テンプルの学生と交流。
- ・昭和女子大学の就職率が、1000人以上の学生を持つ大学の中で、1位。
→一人一人の応援をして97.3%の就職率。共学の中では、第4位。
文化系の大学でもかなり頑張っている。
- ・学生の数も、以前より3~4倍になり、偏差値も上がっている。
- ・環境デザイン学科は、社会の要請に応えることができる教育を目指しており、今後学部になる。
- ・経済的にも余裕が少しできてきたので、キャンパスの整備、学生ホールの改修を行い、学生から児童までが充実した生活を送れるようにしている。

* 話が終わったところで、平原会長より、先日の台風15号により被災した望秀学寮へのお見舞い金(20万円)を坂東理事長にお渡しした。その後、議題に戻った。

<議題2. 2018年度決算報告> 会計： 関口 明子

決算報告書(会報に記載)の通りに報告。

会計監査報告： 山口俊行監査役

「役員会議事録と帳簿の監査の結果、平成30年度会計は適正に処理されていることを報告いたします。」

※議案2. について、拍手をもって承認された。

<議案3. 2019年度予算案> 会計： 関口 明子

2019年度予算案(会報に記載)通りに報告。

※議案3. について、拍手をもって承認された。

<議案4. 役員改選について> 平原 史樹 会長

・今回は2期目に入り、鎗木順治郎さん、小川薫さんの2名が離任し、太田雪絵さんが今期より就任。合計11名の役員で行っていく。

※議案4. について、拍手をもって承認された。

議長より、会員にむけて改めて意見・要望の確認が行われるが、特になく、議事の終了。

6. 初等部の状況について： 柴田 芳明 校長

- ・1回生・11回生の卒業50、60周年おめでとうございます。
- ・令和元年になり、スタッフとして 副校長：中山 先生、教頭： 松下・渡邊先生の4名態勢となった。
- ・現在639名の児童が在籍、内男子は94名。今年の1年生は男子が22名いる。
- ・コンピューター室の徹底した改修工事をして、「マルチメディアルーム」と改名。机は曲玉式で、話

やすい形のものを取り入れた、スクリーンもきれいになり、音もよい。子ども達が情報交換をしやすい環境になった、

- 新プールがテンプル大学の隣りにできた。
- 学園はオールインワン(こども園から大学までが一つになる)。連携により、プラスに動いていける。初等部6年生が、こども園に出向き、子ども達のお世話をする。
- 大学とは、アンケートに協力したり、色々なプロジェクトの参加要請にも応えている。
- 教員と子どもとのつながりより、子どもと学生とのつながりの方が大きい。
- 夏休み明けに、「意見箱」を設置した。担任に直接話せないことを書いて箱に入れるが、必ず名前は明記。友達の悪口ではなく、建設的な意見を書くように指導している。子ども目線で見たいものを、大切にしなければいけないと思ったためである。全ては子ども達の為に、子ども達の成長の為に考えている。

以上をもって、午後 12 時に総会を閉会した。

以 上